

佳作

あしたのねこ

荒川区立赤土小学校 六年

武内 奏晶

こんにちは、柳田先生。

柳田先生は、人生の中でつらい思いをしたり、悲しい思いをしたり、時には死にたくなる時はありませんか。

この本は、すてられてひとりぼっちで生きる氣力を無くしそうになっても、前向きにいいところをさがして生きる、強いねこのお話です。

私は、この本を読んで、ねこと自分を重ね合わせてみました。

私はいつも、いやなことや悲しいことがあると、ずっと思いなやんで、立ち直れずにその日は終わ

ってしまつて、次の日も、その次の日も、もやもやしていいことがない日になってしまいます。でも、このねこは、私のように思いなやまず、必死にいいことを探します。たとえそれが、ちつぽけなことでも、とても大きい、いいことだと考え、そのいいことを大切にして明日を気持ちよくむかえられます。これは、すごいことであり、むずかしいことでもあると思います。

私はこの本をんで考えなおそうと思ったことがあります。

それは、いつまでも思いなやまず、いいことを考えようということです。

もし、いいことを考えられなかったら、この「あしたのねこ」を思い出そうと思います。